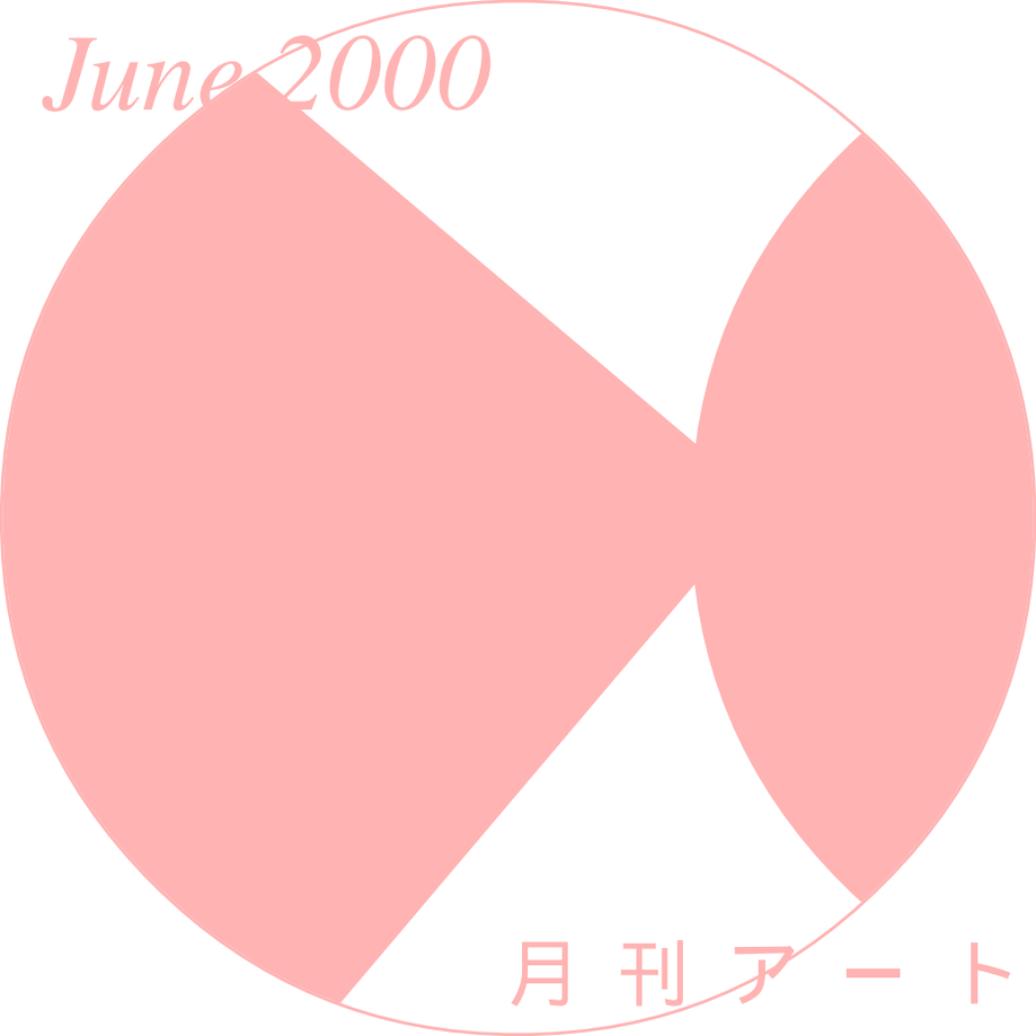


June 2000



月刊アート

月刊アート 6月号

Contents.

思 心

... 死の恐怖

詩 の 豆 情 報

... メールマガジンの見分け方

P o e m ' s G a l l e r y

... 計4本

私 の 好 き な デ ザ イ ン

... オリンパス CAMERA

お ま け

... ブタの唄 作詩・絵きんぎょ

Acrobat Reader の表示設定の仕方

快適にご覧頂くために、Acrobat Readerの表示を、「全体表示」にすることをお勧めします。[表示] [全体表示]を選択することで変わります。



or



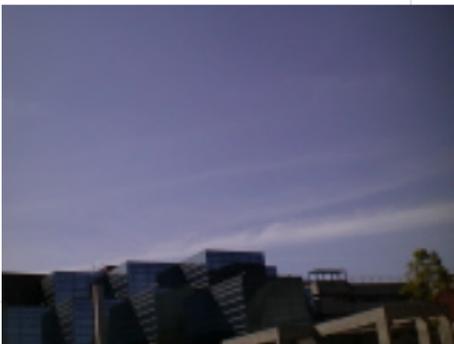
また、大きなディスプレイ (CRT17インチ以上) でご覧の方は、見開き表示にすると、さらに見やすくなるかと思えます。[表示] [見開きページ]を選択することで変わります。



Windows版AcrobatReader4に沿って説明しましたが、Mac版でも、同様の動作で設定可能です。

思ふ、心。

子供の頃、死後の世界と言えば、天国と地獄のふたつがあった。生前、悪事を働かせた人間は、閻魔と呼ばれる者によって地獄へと送られ、そこで罰を受ける。逆に良い行いをした人間は、神様によって楽園へと導かれる。子供達は、舌を抜かれたり、針の山に登らされたりといった地獄に恐怖心を持ち、良い行いをしようと努力する。しかし、それは大人が子供を良い子にさせようと仕向けて作られたものだ、と私は思う。では、「本当の死後の世界」とは何であろうか。ある者は、生まれ変わる、と言う。ある者は、魂となってさまよい続ける、と言う。ある者は、この世界こそが死後の世界だ、と言う。しかし、それはあくまでも空想の中の世界であり、現実には自分の目を見た、という人間はひとりとしていない。たとえいたとしても、信じる人間が何人いるだろうか。つまり、本当の行方を知ることのできない人間達は、死の恐怖を感じるのである。(文・写真 Yoshi)



詩の豆情報

第4回「メールマガジンの見分け方」

日々増え続けるメールマガジン・・・

誰でも手軽に発行できる場として注目されているメールマガジン。その数は年々うなぎ上り状態で、現在では「まぐまぐ」だけでも、約1万4千誌になります。



そこで問題となってくるのが、「どのメールマガジンを購読したらいいか」。同じような話題のメールマガジンが多数存在していて、どれがより内容の良いメルマガなのかが見分けがつかない、というのはよくある話ですよ。片っ端から購読していく手もありますが、5誌程度ならともかく10も20もあると、購読して気に入らないものは解除して・・・とかなり面倒です。

そこで、自己流ではありますが「良いメールマガジンの見分け方」をここに伝授して差し上げましょう。もしかしたら間違ってるかもしれないけど(汗)

IDを見よ！

まぐまぐで発行するメールマガジンには、御存じの通り「ID」と呼ばれる番号が付いています。これは、恐らくメルマガ総括の管理者が管理しやすくする為でしょう。

実はこの ID 番号は、そのメールマガジンが全体で何誌目に発行されました、という数値でもあるのです。例えば ID が 25000 だとすると、25000 番目に作られたメールマガジンだということです。

もう、お分かりですね。つまり、この ID 番号が若ければ若い程、長く続いているメールマガジンであり、長く続くということは、それほど支持されているということ= 良いメールマガジンということになるのです。ちょっと無理があるって？（笑）

詩の雑誌なので・・・

ということで、この雑誌は「詩」が主なので、長く続いている詩関係のメールマガジンを紹介しなければならないでしょう。

「月刊ポエム」ID : 0000000089

89 番という ID から見て分かるように、御長寿的詩のメールマガジンです。毎月出されるテーマに沿って、レギュラー陣や投稿者の詩を

見ることが出来ます。1 回の発行で 15 ~ 20 作品が掲載されていますが、読みやすさを考えて 4 行詩に限定しています。確かにディスプレイで文章を読むというのは疲れますから、非常に良いアイデアでしょう。作者ひとりひとりのコメントも必見です。

ホームページアドレス:<http://>

www2c.biglobe.ne.jp/~joshjosh/poem/



Poem's Gallery.

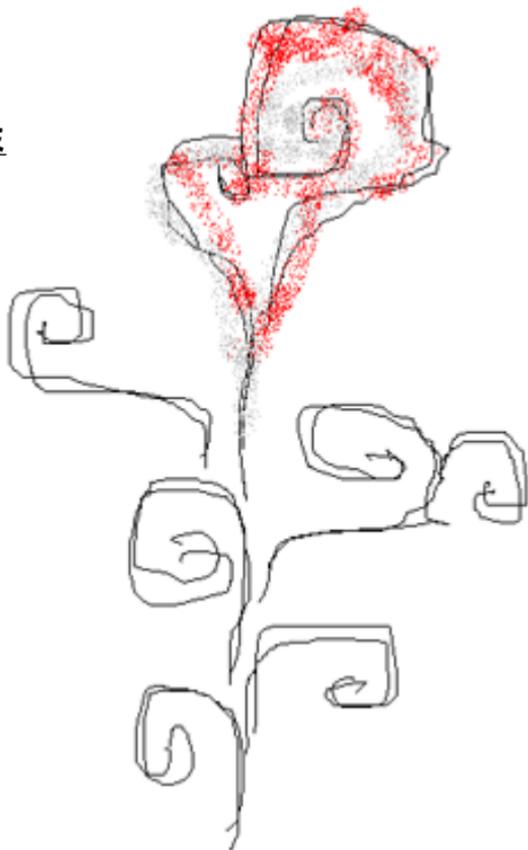
コチラハ

「ココロノ木」ト申シマシテ

葉ト葉ガ互イニ向合ツタ時ニノミ

真赤ニ染マルト伝エラレテイル

不思議ナ木デゴザイマス・・・。



標本箱を並べたて
おもちゃ箱を引っ繰り返した様な
雑然とした破壊と創造が同一に存在する

そして天使性と残酷性は
幻想をも覚醒へと紡ぎだし
その不完全さをさらけ出す

無表情までも形式と化し
自らの意志は逸脱するばかり
脆く儂いその存在は
刹那的で至極の季節は自覚すらない

嘘をつくから
嘘をつかなきゃいけないから
私は突然
海に 海に 駆けていきたくなる

海に浮かび
私の心のまだ
誰にも話したことのない部分を
海に血を流すようにして
海に溶かすのだ

時々見かける
たった一人で海を見る
深い色の目をした少年も
きっと海にしか許されない
しんとした心を
海に溶かしているのだろう

愛してる私の感情さえ

止めど無く降り注ぐ雨の中のくちづけさえ

積み重なって

鏡に映し出された歪んだ出来事みたいに許せるの？

私の好きな デザイン

第3回

OLYMPUS

[C-3030ZOOM]



3月号のSANYOのデジカメを取り上げた時は、「庶民的なデジカメがいい!」とか言ってたクセに、今回は334万画素を搭載した最新機種をお勧めするってのはどうかい(笑)。前々から読者の方々が思っていたであろう「気が変わりやすい」という私の性格が明るみにでてしまった結果となりましたな。まあ、いいでしょう(汗)

今の(あえて「今」を付けさせてもらいます(笑))私はどうやら「カメラらしいデジカメ」が好きらしい。この身体を見てほしい。どっからどう見ても、液晶が付いていることを除けば、普通のカメラと何ら変わり

はない。それどころか、そこら辺の使い切りカメラや簡易カメラよりも「カメラらしい」デザインでしょう? デザインと言えば、この「真っ黒」なボディーに、赤字で「OLYMPUS」と書かれた色使いも最高ですな。先月紹介したIBMのThinkPadのような感じですよ。これが非常に古い機械って感じを醸し出していて、逆にかっこいい。

仕様とはいうと、もはやどれぐらい凄いのかが分からないくらいの画素数334万。数年前にはデジタルカメラに無かったズーム機能が最大2.5倍。連写が1秒に3.3コマ撮影でき、連続撮影可能枚数が5枚という、も

C - 3 0 3 0 Z O O M



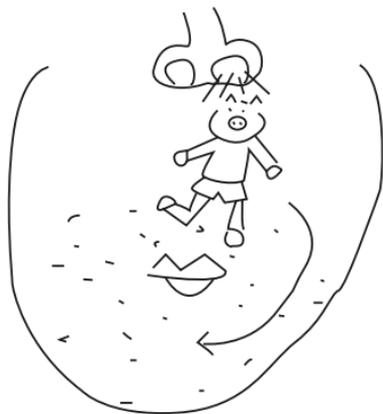
C A M E R A

う、そこらへんの一番レフと同じことができてしまう超高性能カメラなのです。3年前に買った、一枚撮影すると5秒は待たないと次の撮影に入れないという35万画素のカメラが10年以上も前の機能のように見えてしまうのは私だけだろうか(泣)デ

ジカメの向上は凄まじく早いことを実感してしまうよ。

価格は実勢10万前後と眼球が飛び出るほど高いが、それを払ってまで買う価値はあると思います。どうです？欲しくなった？(笑) - 記事：Yoshi

1まなからつたか
歩いてるうー
あごにつけたら……のにな
あー……のにな
(あわ踊り風)



LLM STAFF の募集

定期的な作品の投稿をしてくださるスタッフを募集しています。

投稿物の種類は次の通りです。

(1) 詩

散文詩・歌詞その他詩と名のつく作品。

(2) 詩に関する記事やエッセイ

詩に役立つようなホームページの紹介記事や詩について思うこと、批評等。

(3) デザイン関係のエッセイや記事

デザイン(種類は問いません)について思うこと、デザイン性に優れたホームページの記事、批判等。

その他、新しいアイディア等の企画でも OK。

興味を持たれた方は、llm@mbc.nifty.com まで。

編集後記

今月は月刊アートに関して、様々な不具合があることを確認できました。あるパソコンでは、全く観覧できなかつたり、文字が化けていたりと問い合わせが相次ぎ、皆様には大変ご迷惑をお掛けしたことを、深くお詫び申し上げます。問題はとりあえずは解決したようですが、他に不具合を発見された方は、お手数ですが

llm@mbc.nifty.com までご連絡ください。よろしく申し上げます。さて、今回は、新たに数人の方が詩の方でスタッフになってくださいました。段々ではありますが、月刊アートが充実していくのが、本当に嬉しくてたまりません。また、来月も楽しみに待っていてくださいね。(Yoshi)

月刊アート 6月号

2000年6月10日発行

構成・デザイン Yoshi

発行 LLM

[http://homepage1.nifty.com/LLM/
llm@mbc.nifty.com](http://homepage1.nifty.com/LLM/llm@mbc.nifty.com)

STAFF

詩

Kana Uri

由香 尻

天清かける

紺のり子

記事・文章

Yoshi

Thanks by きんぎょ

この電子本に掲載されている画像及び文章・作品には、著作権があります。
この電子本及び掲載されている画像及び文章・作品の無断掲載は厳禁です。